



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5918 URL <http://www.takigami.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上品義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 瀧上定隆 TEL 0569-89-2101  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,350	△1.6	661	47.8	881	35.6	611	25.5
29年3月期第3四半期	11,594	△16.2	447	△62.2	650	△52.7	487	△54.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,446百万円 (2.5%) 29年3月期第3四半期 1,410百万円 (32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	280.14	—
29年3月期第3四半期	223.22	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	43,539	36,158	83.0	16,572.94
29年3月期	42,589	34,933	82.0	16,003.32

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 36,158百万円 29年3月期 34,933百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)期末の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)期末の1株当たり配当金は5円となり、1株当たりの年間配当金は10円となります。詳細は「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	△6.6	650	19.6	900	18.3	700	20.3	320.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	2,697,600株	29年3月期	2,697,600株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	515,336株	29年3月期	514,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	2,182,853株	29年3月期3Q	2,182,968株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成29年6月29日開催の第80回定時株主総会に株式併合について付議し、承認可決したことにより、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しました。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金	
第2四半期	5円（注1）
期末	5円（注2）

(2) 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益	
通期	32円08銭

（注1）第2四半期末の配当は株式併合前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合前に換算した配当額であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 販売実績 .....	8
(2) 受注高 .....	8
(3) 受注残高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境・企業収益の改善が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、海外では米国政策の動向や地政学リスクなどの影響により、不安定な状況で推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間における連結損益は、完成工事高113億5千万円(前年同期比2億4千万円減・2.1%減)、営業利益6億6千万円(前年同期比2億1千万円増・47.8%増)、経常利益8億8千万円(前年同期比2億3千万円増・35.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億1千万円(前年同期比1億2千万円増・25.5%増)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

鋼構造物製造事業につきましては、昨年10月に終了した営業停止処分の影響はありましたが、営業制限地域外での営業活動と民間案件での受注活動を積極的に展開してまいりました結果、第3四半期連結累計期間の総受注高は81億5千万円(前年同期比49億円増・155.7%増)となりました。

四半期損益につきましては、一部の大型工事で発生した製作工数の増加は秋以降に収束したことから、収益悪化にも歯止めが掛かり、工場は概ね正常稼働の水準に回復いたしました。併せて、完成した高速道路物件などで設計変更を獲得したことから、一定の収益を確保することができたため、完成工事高94億9千万円(前年同期比5億3千万円減・5.4%減)、営業利益5億2千万円(前年同期比7千万円増・16.9%増)となりました。

不動産賃貸事業における四半期損益につきましては、昨年10月に今後の事業収益の下支えを目的に、2棟目の賃貸オフィスビルを購入したことも影響し、売上高5億円(前年同期比9千万円増・24.0%増)、営業利益2億9千万円(前年同期比5千万円増・21.0%増)となりました。

材料販売事業につきましては、厚板部門では、当社向け規格材販売の落込みにより売上高は減少しましたが、鉄骨向け加工数量の大幅な増加により、営業利益は増益となりました。レベラー部門では、売上高・営業利益共に前年同期比で横這いに推移いたしました。また、鉄筋・建材部門では、スクラップ価格の値上がりにより市場価格が上昇したため、売上高・売上原価共に増加致しましたが、営業利益は概ね横這いに推移いたしました。その結果、材料販売事業は、売上高21億7千万円(前年同期比5百万円減・0.3%減)、営業利益6千万円(前年同期は1千万円の営業損失)となりました。

運送事業につきましては、当社の鉄骨工事に係る輸送取引の増加などにより、売上高3億6千万円(前年同期比4千万円増・14.2%増)、営業利益3百万円(前年同期比2百万円増・222.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は435億3千万円(前連結会計年度末比9億5千万円増・2.2%増)となりました。流動資産は、211億円(前連結会計年度末比13億1千万円減・5.9%減)、固定資産は、224億3千万円(前連結会計年度末比22億6千万円増・11.3%増)となりました。

負債は73億8千万円(前連結会計年度末比2億7千万円減・3.6%減)となり、それぞれ、流動負債は31億1千万円(前連結会計年度末比7億2千万円減・18.9%減)、固定負債は42億6千万円(前連結会計年度末比4億5千万円増・11.9%増)となりました。純資産は、361億5千万円(前連結会計年度末比12億2千万円増・3.5%増)となりました。この結果、自己資本比率は83.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、本日付で公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	11,150	10,588
受取手形・完成工事未収入金等	9,918	9,296
有価証券	300	500
商品及び製品	40	29
未成工事支出金	190	161
材料貯蔵品	108	159
その他	715	371
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,423	21,104
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	4,162	6,524
その他(純額)	4,929	5,220
有形固定資産合計	9,091	11,745
無形固定資産		
ソフトウェア	41	38
その他	12	9
無形固定資産合計	54	48
投資その他の資産		
投資有価証券	10,756	10,393
その他	263	247
投資その他の資産合計	11,019	10,641
固定資産合計	20,165	22,435
資産合計	42,589	43,539
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,702	2,040
未成工事受入金	181	182
未払法人税等	48	72
工事損失引当金	392	242
引当金	266	137
その他	255	444
流動負債合計	3,847	3,118
固定負債		
引当金	212	225
退職給付に係る負債	896	901
繰延税金負債	2,467	2,837
その他	231	297
固定負債合計	3,807	4,262
負債合計	7,655	7,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	418	418
利益剰余金	32,055	32,448
自己株式	△2,742	△2,746
株主資本合計	31,092	31,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,907	4,732
退職給付に係る調整累計額	△66	△56
その他の包括利益累計額合計	3,840	4,675
純資産合計	34,933	36,158
負債純資産合計	42,589	43,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
完成工事高	11,594	11,350
完成工事原価	10,076	9,610
完成工事総利益	1,518	1,740
販売費及び一般管理費	1,071	1,079
営業利益	447	661
営業外収益		
受取利息	18	7
受取配当金	154	186
賃貸収入	22	22
その他	19	17
営業外収益合計	214	234
営業外費用		
為替差損	0	0
自己株式の取得に関する付随費用	3	5
賃貸費用	7	7
営業外費用合計	11	13
経常利益	650	881
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	49	50
会員権売却益	1	—
特別利益合計	51	50
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	19	7
工事違約金	26	—
投資有価証券売却損	—	5
会員権売却損	—	1
特別損失合計	46	22
税金等調整前四半期純利益	655	910
法人税、住民税及び事業税	53	193
法人税等調整額	115	105
法人税等合計	168	298
四半期純利益	487	611
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	487	611

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	487	611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	912	825
退職給付に係る調整額	11	9
その他の包括利益合計	923	834
四半期包括利益	1,410	1,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,410	1,446
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,029	409	1,049	84	11,573	21	11,594	—	11,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,128	236	1,365	—	1,365	△1,365	—
計	10,029	409	2,178	321	12,939	21	12,960	△1,365	11,594
セグメント利益又は損 失(△)	451	244	△17	1	679	6	685	△238	447

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりま  
す。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△1,365百万円及び  
「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額5百万円、セグメント間未実現利益の  
消去額△1百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△242百万円を含んでおります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,493	507	1,221	100	11,323	27	11,350	—	11,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	951	266	1,217	—	1,217	△1,217	—
計	9,493	507	2,173	367	12,541	27	12,568	△1,217	11,350
セグメント利益	527	295	61	3	887	9	897	△236	661

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりま  
す。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△1,217百万円及び  
「セグメント利益」には、セグメント間取引の消去額△8百万円、セグメント間未実現利益の消去額4百万円  
及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△232百万円を含んでおります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	9,572	82.6	7,991	70.5	13,056	82.4
鉄 骨	457	3.9	1,501	13.2	700	4.4
小 計	10,029	86.5	9,493	83.7	13,757	86.8
不 動 産	409	3.5	507	4.5	567	3.6
材 料 販 売	1,049	9.1	1,221	10.7	1,376	8.7
輸 送	84	0.7	100	0.9	118	0.7
そ の 他	21	0.2	27	0.2	29	0.2
合 計	11,594	100.0	11,350	100.0	15,848	100.0

(2) 受注高

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	2,726	86.5	6,727	83.5	4,956	78.2
鉄 骨	424	13.5	1,330	16.5	1,379	21.8
合 計	3,151	100.0	8,057	100.0	6,336	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (平成28年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成29年12月31日)		前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	11,977	90.4	9,459	83.9	10,723	84.3
鉄 骨	1,278	9.6	1,819	16.1	1,989	15.7
合 計	13,256	100.0	11,278	100.0	12,713	100.0